



たゆまぬ努力でつかんだ栄冠 前橋育英高男子サッカー部 夢と感動をありがとう



写真提供：前橋育英高

1月8日、第96回全国高校サッカー選手権大会の決勝戦が埼玉スタジアム2002で開催。前橋育英高が流通経済大柏高（千葉県柏市）に1・0で勝利し、大会初優勝。全国4,093校の頂点に輝きました。

栄冠を手にした選手たちは12日に母校で優勝を報告。21日には中心商店街で優勝を記念しパレードを、前橋テルサでは市民栄誉賞顕彰式を行いました。ここでは、決勝戦当日や報告会の様子、監督や選手のコメントを紹介します。

岡市政発信課
☎027・898・6642



戦いを終えて 監督・主将 思いを語る



山田 耕介 校長兼同部監督

皆さん、応援ありがとうございました。選手にはいつも、応援してくれる人のさまざまな思いを秘めて戦わなければいけない、と言っています。大変な時にはスタンドを見ろ、スタンドには、みんなを支えてくれる多くの人がある。そう伝えてきました。選手たちの努力と皆さんの応援の結果、日本一になりました。

これからも、七転び八起き、失敗してもそのままにせず、諦めず前を向いて頑張ろうと思います。来年も日本一を目指したい、皆さんにパワーと感動を与えられるように頑張りたいと思います。



田部井 涼 前主将

大会期間中は前橋の皆さんの応援が力になりました。本当にありがとうございました。優勝した瞬間は分からなかったですが、テレビやパレードなど、地元で取り上げてもらうにつれ、実感が湧いてきました。

これからも前橋で培ったことを発揮できるよう頑張りたいと思います。